

令和8年度

横浜市 障害者支援施設（入所施設）

入所申込みのご案内



◆ 障害者支援施設（入所施設）とは

障害者の居住の場や食事、日常生活上の世話、介護を一体的に提供する施設です。制度的には、日中のケアは日中活動支援の「生活介護」等として提供され、それ以外(夜間等)の支援全般は「施設入所支援」として提供されます。

対象者

18歳以上の障害者で、障害支援区分4(50歳以上の者にあっては障害支援区分3)以上である者 等

横浜市の障害者支援施設（入所施設）

横浜市の入所施設は、「地域生活支援型」と位置づけており、障害者が一生涯を送る施設ではなく、地域で自立した生活を送ることが出来るよう、一定期間、支援に取り組む「通過型」の施設です。

問合せ先

横浜市 健康福祉局 障害施設サービス課 TEL 045-671-3607
各区役所 福祉保健センター 高齢・障害支援課

◆ 申込方法

別添「入所申込書」に必要事項を記入し、計画相談事業所へ提出して下さい。

※ 計画相談の利用が困難な場合は、お住まいの区役所又は区基幹相談支援センターへご相談下さい。

◆ 申込後に必要な手続き

◇ 変更の場合

- ▶ 申込時の内容から状況(住所、入所希望施設等)が変わった場合には、変更の手続きが必要です。
- ▶ 「入所申込変更届 兼 取下げ届」に必要事項を記載して、計画相談事業所(又は区役所)に提出して下さい。
- ▶ 変更する内容によっては、再度支援方針の話し合いを行う場合があります。

◇ 取下げの場合

- ▶ 市内入所施設以外に入所された場合や亡くなられた場合等、申込みの必要が無くなった時には、「入所申込変更届 兼 取下げ届」に必要事項を記載して、計画相談事業所(又は区役所)に提出して下さい。

◇ 更新の場合

- ▶ 入所申込みの有効期間は3年間です。
 - ▶ 関係機関が集まる機会等を利用して、継続の意向確認等を行います。
- ※ 有効期間を過ぎて継続の意向確認が出来ない場合は、取下げの扱いとなります。

◆ 入所調整結果の公表 等

- ▶ 横浜市の入所調整における「入所優先度区分」及び区分の参考とする「点数」については、申請者に開示しています。
開示を希望する場合は、横浜市健康福祉局障害施設サービス課
又は お住まいの区高齢・障害支援課までお問い合わせ下さい。
- ▶ 各施設の入所調整会議の実施結果は、横浜市ホームページで公表します。

▼市ホームページ
(障害者支援施設)



障害者グループホーム（共同生活援助）とは

共同生活を営む住居において、主に夜間に相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

横浜市では、障害の程度に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、グループホームの整備を進めています。[市内定員計 6,023 名(令和7年12月末現在)]

グループホームへの入居を希望する場合には、計画相談事業所(又はお住まいの区役所や区基幹相談支援センター)へご相談下さい。

横浜市の入所調整制度について

横浜市では、市内入所施設への申込みについて、公平性・透明性を確保しつつ、申込みをされる方々の利便性を図るため、申込みを一括して受け付けています。

入所申込者の障害支援区分や世帯等の状況から入所優先度区分を定め、入所の必要性の高い方の中から入所選考が行われるようにしています。

◆ 入所申込から入所者決定までの流れ

計画相談事業所へ申込書の提出

◇ 計画相談の利用が困難な場合は、お住まいの区役所又は基幹相談支援センターへご相談下さい。

① 【申込者 及び 計画相談等】支援方針の話し合い

申込書を受理した計画相談事業所(相談支援専門員)は、申込者及び家族、その他関係機関を集め、入所の意向等について聞き取りの上、必要性等の検討を行います。

② 【区役所】関係書類等の作成・提出 (⇒健康福祉局)

区役所は、関係機関との検討を踏まえて関係書類を作成し、健康福祉局へ提出。

③ 【健康福祉局】入所申込者リストの作成

健康福祉局は、毎月末日までに区役所から提出された申込書等を集約し、入所申込者リストを作成します。

また、四半期に1回の頻度で、提出された関係書類をもとに、入所優先度区分を定める為の入所調整カンファレンスを開催します。

【入所施設】空きの発生 (入所者募集)

④ 【健康福祉局】入所申込者リストの提供 (⇒入所施設)

健康福祉局は、入所施設へ当該施設希望の入所申込者リストを提供。

⑤ 【入所施設】入所調整会議の開催 及び 入所者の決定

入所施設は、入所申込者リストに掲載された入所優先度が高い方の中から、居室の状況等を踏まえて、入所候補者を選考します。

入所者の選考は、各施設で実施する入所調整会議を経て、決定されます。

※ 入所施設が、申込者の状況等を確認する為、必要に応じて、詳細について聞き取り等を行う場合があります。

⑥ 【申込者】受給者証の受領、入所施設との契約等

申込者は、区役所から入所決定の連絡を受け、受給者証の発行を受けた後、入所施設と契約等を行います。

横浜市入所施設一覧①

施設名	希望	運営法人名	社会福祉法人 白根学園		
所在地	鶴見区矢向 1-14-18	電話番号/FAX	580-0078 / 584-8999		
入所定員	60名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	駅やバス停からも近い好立地です。全室個室で、障害特性に応じたユニット編成としています。入居者のニーズに応じて他法人の日中活動事業所利用もあります。その他、季節の行事や創立記念会食、日帰り旅行を実施しています。				

施設名	シーダ日野学園	運営法人名	社会福祉法人 聖坂学園		
所在地	港南区日野中央2-25-1	電話番号/FAX	849-2633 / 849-2634		
入所定員	50名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	施設は、住宅地と県立横浜南陵高校・市立日野中央高等特別支援学校に隣接しており、静かで緑多い地域にあります。表現活動や創作・作業活動、各種行事、自活学習、余暇活動、利用者の会などの特別活動など、幅広く活動しています。				

施設名	県立 芹が谷やまゆり園	運営法人名	社会福祉法人 同愛会(社会福祉法人 白根学園 と共同運営)		
所在地	港南区芹が谷2-3-1	電話番号/FAX	443-6890 / 443-6891		
入所定員	60名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	山の中腹の自然豊かな環境の中に位置しています。四季を問わず、鳥のさえずりで癒され、多くの樹木に囲まれた心地よい空間で、皆様が穏やかな生活を営みつつ、様々な体験を通して生活力を養い社会参加できることを目標に支援しています。				

施設名	のぼら園	運営法人名	社会福祉法人 光風会		
所在地	保土ヶ谷区狩場町 200-6	電話番号/FAX	742-1250 / 742-1251		
入所定員	50名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	多床室
施設の特長・PR	のぼら園では、多種多様なニーズ・特性を尊重し、利用者が生き生きとした生活を送れるよう、一人ひとりを大切にした支援を心がけています。				

施設名	恵和青年寮	運営法人名	社会福祉法人 恵和		
所在地	保土ヶ谷区今井町 691 番地	電話番号/FAX	353-0662 / 465-4780		
入所定員	80名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	多床室、ユニット型個室
施設の特長・PR	利用者の生活がより豊かに充実した日々となるように、内外部事業所との協力体制の構築を図り、生活場面と日中活動場面の双方を合わせ、自立課題など利用者個々に合わせた支援をチームとして取り組んでいます。				

※ 各施設の詳細は、横浜市ホームページでもご覧いただけます。

申込前に、希望する施設の見学や短期入所のご利用を検討下さい。

横浜市入所施設一覧②

施設名	てらん広場	運営法人名	社会福祉法人 同愛会		
所在地	保土ヶ谷区上菅田町 1696	電話番号/FAX	373-9667 / 373-9668		
入所定員	70 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	地域に開かれた施設として、障害の程度を問わず、利用者を広く受け入れると共に、法人の基幹施設として機能し、様々な機関との連携を創り上げながら福祉ネットワークの構築を目指しています。				

施設名	偕恵	運営法人名	社会福祉法人 偕恵園		
所在地	旭区上白根町783	電話番号/FAX	951-3436 / 955-5261		
入所定員	40 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	県立四季の森公園に隣接した自然環境豊かな場所にあります。2017年の全面改築により全室個室となり、落ち着いた明るい環境で、法人内のグループホームや特別養護老人ホームと連携した運営を行っています。				

施設名	しらねの里	運営法人名	社会福祉法人 白根学園		
所在地	旭区上白根町1092番地	電話番号/FAX	954-5210 / 954-2337		
入所定員	40 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	多床室
施設の特長・PR	里山のような自然豊かな環境にある施設です。 中高齢期(平均年齢 51.5 歳)の方たちが多く利用されており、近年では身体的な介護を必要とされる利用者の方が少しずつ増えてきており、介護的な支援にも取り組んでいます。				

施設名	光の丘	運営法人名	社会福祉法人 白根学園		
所在地	旭区白根 7-10-6	電話番号/FAX	951-2620 / 951-8649		
入所定員	40 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	知的障害のある方を対象に、地域での生活を目標として、施設入所・短期入所などで生活全般の支援をしています。日中活動の種類が多く、個々のペースに合わせたプログラム提供を目指しています。				

施設名	ホルツハウゼ	運営法人名	社会福祉法人 ル・プリ		
所在地	旭区金が谷 550	電話番号/FAX	951-1711 / 951-7888		
入所定員	30 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の特長・PR	居室は個室完備しており、18 歳以上の男性 30 名が 6 ユニットに分かれて暮らしています。地域移行支援と余暇として敷地外へのお出かけを月に 1 回実施しており、ユニットでは職員を交えての談笑と、ごく当たり前の日々を送れるように支援しています。				

※ 各施設の詳細は、横浜市ホームページでもご覧いただけます。

申込前に、希望する施設の見学や短期入所のご利用を検討下さい。

横浜市入所施設一覧③

施設名	くるみ学園(成人)	運営法人名	社会福祉法人 ル・プリ		
所在地	旭区金が谷 550	電話番号/FAX	951-1711 / 951-7888		
入所定員	20 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	居室は個室完備しており、18 歳以上の女性 20 名が 4 ユニットに分かれて暮らしています。地域移行支援と余暇として敷地外へのお出かけを月に 1 回実施しており、ユニットでは職員を交えての談笑と、ごく当たり前の日々を送れるように支援しています。				

施設名	航	運営法人名	社会福祉法人 すみなす会		
所在地	金沢区釜利谷南 2-8-1	電話番号/FAX	788-2934 / 788-2906		
入所定員	50 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	金沢区唯一の障害者支援施設で、地域ケアプラザが併設されており、日常から地域の方との交流が多い施設です。終の棲家ではなく、入所された方が望む暮らしへの移行に向けた支援を心掛けています。				

施設名	花みずき	運営法人名	社会福祉法人 横浜共生会		
所在地	港北区新吉田町 6001-1	電話番号/FAX	593-5932 / 593-5779		
入所定員	50 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	ユニット制、完全個室で自由が多く、施設らしくない雰囲気です。居住スペースと日中活動のスペースを分け、昼夜の分離ができています。また、施設外への通所も勧めており、3割程度の方が法人内外問わず、外部通所しています。				

施設名	青葉メゾン	運営法人名	社会福祉法人 ル・プリ		
所在地	青葉区奈良町 1757-3	電話番号/FAX	962-8821 / 962-9847		
入所定員	60 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	18 歳から 70 代の方々が 4～6 名で構成されるユニットで暮らしています。職住分離を原則に、メリハリのある暮らしの提供を心掛けながら、プライベート空間を確保し、その人らしい暮らしのリズムを大切にしています。				

施設名	東やまたレジデンス	運営法人名	社会福祉法人 横浜やまびこの里		
所在地	都筑区東山田町 270 番地	電話番号/FAX	591-2815 / 591-2768		
入所定員	40 名	主たる対象者	知的障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	横浜市内で自閉症・発達障害のある人々への支援に取り組み、個別に配慮された環境設定などの支援を取り入れ、自閉症の人たちがより自立した生活を送れるように、生活面や日々の活動への支援を実践しています。				

※ 各施設の詳細は、横浜市ホームページでもご覧いただけます。

申込前に、希望する施設の見学や短期入所のご利用を検討下さい。

横浜市入所施設一覧④

施設名	朝日塾	運営法人名	社会福祉法人 朝日の里
所在地	戸塚区東俣野 57-6	電話番号/FAX	852-8888 / 852-8991
入所定員	50名	主たる対象者	知的障害者 多床室・ユニット型個室 多床室
施設の 特長・PR	施設からは四季折々の富士山を見ることができ、地域の方々はとてもやさしく、素敵なおところにあります。食事(直営)は、「おいしいことが当たり前」をモットーに、厨房職員が毎日奮闘しています。理念は「心」。職員は利用者の「笑顔」のため、日々支援をしています。		

施設名	ソイル栄	運営法人名	社会福祉法人 であいの会
所在地	栄区笠間3-10-7	電話番号/FAX	891-6030 / 891-6031
入所定員	50名	主たる対象者	知的障害者 多床室・ユニット型個室 ユニット型個室
施設の 特長・PR	障害のある仲間が、横浜市栄区笠間の地で自立し精神を育み、一人一人が自分らしい生活を目指して巣立っていくことを願っています。		

施設名	泉の郷まつかぜ	運営法人名	社会福祉法人 誠幸会
所在地	泉区上飯田町 1986-1	電話番号/FAX	803-5010 / 803-5015
入所定員	36名	主たる対象者	知的障害者 多床室・ユニット型個室 ユニット型個室
施設の 特長・PR	最重度の知的障害や自閉症の方を対象とした入所施設として、「誰もが地域で暮らせることがあたりまえの社会」を事業理念とし、個々の特性に配慮した支援を行っています。個室や個浴、ICT 機器による睡眠状況の把握なども行っています。		

施設名	横浜市松風学園	運営法人名	横浜市
所在地	泉区上飯田町 1987 番地	電話番号/FAX	802-0441 / 803-4963
入所定員	45名	主たる対象者	知的障害者 多床室・ユニット型個室 ユニット型個室
施設の 特長・PR	昭和35年に開設した歴史のある施設です。敷地内は自然豊かで四季を感じることが出来ます。現在、老朽化のため再整備を行っています。		

施設名	たちほどがや	運営法人名	社会福祉法人 十愛療育会
所在地	保土ヶ谷区仏向町 1600-2	電話番号/FAX	335-1001 / 335-1019
入所定員	40名	主たる対象者	身体障害者 多床室・ユニット型個室 ユニット型個室
施設の 特長・PR	全室個室で5つのユニット(1ユニット10名)があり、同姓介助で対応しています。ほぼ全ての部屋にリフトを備え、各ユニットにはリビング、ミニキッチン、浴室があります。日中活動では、専属の担当者がユニットを超えて対応し、趣味や嗜好を活かした活動を展開しています。		

※ 各施設の詳細は、横浜市ホームページでもご覧いただけます。

申込前に、希望する施設の見学や短期入所のご利用を検討下さい。

横浜市入所施設一覧⑤

施設名	横浜らいず	運営法人名	社会福祉法人 横浜共生会		
所在地	港北区新吉田町 6001-6	電話番号/FAX	592-1011 / 592-0105		
入所定員	60名	主たる対象者	身体障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	1ユニット10名程度で個室多めです。天井走行リフト・高床式トイレ・ミスト浴槽等々の身体障害者の方向けの設備が整い、診療所も併設。デイプログラムもあります。居住者と職員で作り上げるアットホームな施設です。				

施設名	リエゾン笠間	運営法人名	社会福祉法人 同愛会		
所在地	栄区笠間 3-10-1	電話番号/FAX	898-3533 / 898-3534		
入所定員	50名	主たる対象者	身体障害者	多床室・ユニット型個室	ユニット型個室
施設の 特長・PR	身体障害のある方の入所施設として利用者の皆さんが暮らしやすい環境を整備し、それぞれの思いに沿った支援を心がけています。また、地域との架け橋として、入所施設が“終の棲家”の役割だけではなく“通過型施設”としての選択肢を追求しています。				

施設名	よこはまりバーサイド泉	運営法人名	社会福祉法人 横浜市社会事業協会		
所在地	泉区下飯田町 355 番地	電話番号/FAX	804-2191 / 803-6239		
入所定員	60名	主たる対象者	身体障害者	多床室・ユニット型個室	多床室
施設の 特長・PR	横浜市初の身体障害者の入所施設で、短期入所、生活介護事業、放課後等デイサービス事業を運営しており、移乗リフターやシャワー浴等の福祉機器をご利用いただけます。ご本人様の意向を伺いながら日々の生活支援や外出援助等をしています。				

※ 各施設の詳細は、横浜市ホームページでもご覧いただけます。

申込前に、希望する施設の見学や短期入所のご利用を検討下さい。

「横浜市総合リハビリテーションセンター 障害者支援施設」(港北区鳥山町 1770)については、施設へ直接ご相談下さい。

入所施設からの「地域生活移行」について

入所施設からの「地域生活移行」とは、単に住まいを施設からグループホームなどに移すことではなく、障害者個々人が、自ら選んだ住まいで安心して、自分らしい暮らしを実現することを意味しています。

市内の入所施設においては、全ての入所者について、定期的に意向確認を丁寧に行いながら、本人が希望する暮らしの実現の為に支援に取り組んでいます。

本来は、誰もが地域で暮らしを営む存在であり、とりわけ家族の状況や支援不足等から希望していない生活環境にある障害者について、本人の意志や希望、選択が尊重される支援の仕組みと選択肢が作れるよう、横浜市では取組を進めていきます。